

練馬区商工業振興計画(素案)に対する区民意見等の概要と区の考え方について

ご意見の要旨について、練馬区商工業振興計画(素案)における戦略目標ごとに分類しました。

計画に反映した項目(3)
既に趣旨が記載されている項目(12)
個別事業において検討する項目(3)

対応できない項目(3)
その他(2)

| | 意見の内容(要旨) | 区の考え方 | 対応状況 |
|---------------------------------------|--|--|------|
| A まちの魅力を活かした産業活動の推進【戦略目標】 | | | |
| 1 | 農地の多さを生かせば、東京都 1のものの出現は不可能でないと考えます。 | 練馬区は、23区最大の農地面積を有しており、農業は区のイメージを特徴付ける産業です。大消費地に近いという利点を生かした地産地消を推進し、全国のモデルとなるような都市型農業の振興を図っていきます。 | |
| 2 | 練馬の未来のためには観光立区、世界のアニメビジネス拠点および若い力が集まる新しい農業を実現する必要があり、そのためにはアニメ産業を柱に、人と金と外資企業を呼び込み、国際都市を創造すべきである。 | 練馬区は、昨年末に策定した基本構想において「未来の練馬を区民とともにくぐむ」視点を具体化する重点事業として、「アニメプロジェクト」を設定しました。その中では、練馬区の特徴的産業であるアニメ産業を、国際競争力をもつ産業へ育成・強化し、区全体の産業振興や雇用創出へつなげるとともに、練馬区発の文化として広く世界へ発信していきます。また、アニメの拠点としてのアミューズメント施設の整備等も視野に入れ、練馬区が世界の多くの人から憧れられる国際都市へ発展するよう魅力を高めていきます。本計画では、アニメ産業の育成・強化に努める一方で、練馬駅北口区有地に(仮称)産業振興会館を整備し、アニメ産業関連の国際ビジネス展開を支援していきます。 | |
| 3 | アニメの拠点である「アニメの殿堂」を練馬に実現させるため、その構想の第一歩となるのが北口会館である。 | | |
| 4 | 伝統工芸や農業関係のPRについては、職人や農家の方々の苦労話、製品や農産物ができる過程を含めたかたちで行っていくべきである。 | 本計画では、「伝統工芸体験講座の開催」や「産業情報の提供」を個別事業として位置付け、物ができるまでの苦労やその過程も含めたPR・情報提供をしていく予定です。 | |
| 5 | これからの技術者を育てるためには時間がかかり、大変なプロセスが必要だ。それらは仕事の重要な原点であると伝えてほしい。 | 石神井公園ふるさと文化館や(仮称)産業振興会館において展示などによるPRを行う際には、仕事のプロセスについても伝えていきたいと考えています。 | |
| 6 | 観光名所である白子川の整備については、今後どのように進めていくのか。 | 白子川の水辺空間の創出について、東京都の河川事業の進捗に合わせて要望していきます。また、白子川の魅力の向上については、本計画の個別事業において、関係部署と連携しながら進めていきたいと考えております。 | |
| B みどり、環境と調和し、発展する産業活動の推進【戦略目標】 | | | |
| 7 | 自然と共に生きる「みどり30」の推進によって生まれる経済効果を産業振興に活用することが大切である。 | 練馬区は23区で最も緑被率が高く、みどりは練馬区を特徴付ける大切な資源です。本計画では、みどり、環境と調和し、発展する産業活動の推進を戦略目標の1つとして位置付けています。 | |

| | 意見の内容（要旨） | 区の考え方 | 対応状況 |
|------------------------------|---|--|------|
| C 変化に対応した産業活動の推進 【戦略目標】 | | | |
| 8 | 練馬区が発展するためには、20年、30年先を見据えた展望が必要であり、その展望ができる優れた人材の発掘が重要である。 | 時代とともに産業構造は大きく変化しています。また、消費者のニーズも社会、経済情勢を背景に多様化しています。長期的な視点で展望を捉えながら、時代の変化に対応した産業活動が営めるように、本計画では、産業活動活性化に向けた人材の育成を重要な施策として位置付け、推進していきます。 | |
| 9 | 新規事業の新製品の開発等に対する支援とはどのようなものか。企業がしのぎを削って競争している中、安易な政策を行うのは経費の無駄使いではないか。 | 区内中小企業の新製品・新技術の開発に対して、活用しやすい補助支援制度の創設を検討します。補助支援制度の検討に当たっては、産業団体等を通じて区内中小企業の意向を把握し、実態に即した支援内容とします。 | |
| 10 | 他区ではサポーターとして中小企業の相談員が、技術、金、客、加工および販売先に関して3ヶ月にわたり相談に応じる。また、地域内の産業の交流にも力を入れている。 | 経理、財務、マーケティング、販路拡大等についてワンストップで相談できる体制を整え、継続した支援を行います。また、若手経営者の交流への支援を行っていきます。 | |
| 11 | 5つの戦略目標を早期に実現するためには、練馬区商工業振興研究所を設立し、各分野における研究や専門的な分析が必要である。 | 変化の激しい今日の社会情勢の下で戦略目標を達成するため、産業振興・経済活性化の拠点として区内産業に関する情報、相談、研修・交流などの総合支援機能を持つ（仮称）産業振興会館を整備し、区内商工業の振興を推進します。なお、研究機関については、高度で専門的な研究機関を持つ国や都との連携や活用を考えています。 | |
| 12 | 若い力を生かすことが大切であると思う。リーダーの交代や若者の育成を区が奨励していくことが必要ではないか。 | 若手経営者の育成については、本計画の施策である新事業・創業への支援や産業活動活性化に向けた人材の育成における「経営者・後継者経営力向上事業」や「若手経営者の交流支援事業」により推進します。 | |
| D まちににぎわいをもたらす産業活動の推進 【戦略目標】 | | | |
| 13 | 音楽、演劇、舞踏などの文化産業全般の振興を図るべきである。 | 音楽、演劇、舞踏などを通じた産業振興については、区の文化振興施策と連携しながら進めていきます。 | |
| 14 | 来街者を増やし、波及効果を狙うことに重点をおくべきでないか。 | 区内商工業の活性化のために来街者を増やすことは、極めて重要なことと考えます。そこで、本計画では、まちににぎわいをもたらす産業活動の推進を戦略目標の1つとし、来街者を増やすための施策や多くの個別事業を位置付けています。 | |
| 15 | 千川通りを月に1回程度、歩行者天国にすることで来街者を増やすことができる。 | 千川通りの歩行者天国や千川を掘り起すことは、現在考えていません。なお、来街者を増やすことは産業の活性化に大切なことですので、本計画では、まちににぎわいをもたらす産業活動の推進を戦略目標の1つとして掲げ、様々な個別事業を計画しています。 | |
| 16 | 中村橋から桜台までの間の千川を掘り起すことにより、千川通りに多くの人が集まるようにする。 | | |

| | 意見の内容（要旨） | 区の考え方 | 対応状況 |
|-----------------------------|--|--|------|
| E 区民とともに活性化する産業活動の推進 【戦略目標】 | | | |
| 17 | 本計画には、製造業の振興が考えられていない。 | 本計画では、住宅と共存した工業・ものづくりへの支援を施策を1つとして掲げ、個別事業として「見本市等出展への支援」、「事業所マッチング（ビジネスネット）」など行います。なお、区内製造業の取り巻く状況を把握し、振興策を検討するため、新規事業として製造業実態調査を行う予定です。 | |
| 計画全般に関すること | | | |
| 18 | 整備を行う日本銀行石神井運動場において、野外音楽祭を開催できるよう準備すべきである。 | 日本銀行石神井運動場の活用については、「日本銀行石神井運動場の公園整備にかかる基本計画」において文化芸術を楽しむ機会を提供するとした方向性を示しており、区ではこの計画に基づき進めていきます。 | |
| 19 | 事業者への支援はある程度期間を定めて実行していかないと、自立を支援することにならない。 | 事業者の自助努力を促進するため、事業の執行に当たっては、PLAN（計画・目標）、DO（実施）、CHECK（点検・評価）、ACTION（改革・改善）のPDCAサイクルの活用により一定期間で事業を評価し、効果的・効率的な支援を行います。 | |
| 20 | 国や都などが行っていて区が必ずしも実施する必要がない事業が含まれている。区は他の機関へのコーディネート機能を行えば済むことである。 | 本計画の個別事業は、区が基礎自治体として担うべき分野において、区内中小企業のニーズを踏まえて策定したものです。国や東京都の事業の利用については、コーディネート機能を果たしていきます。 | |
| 21 | 限られた財政の中で、いかに有効に資金を使うかという命題のもとで考えると、本計画素案については、選択と集中の点が欠落しているのではないか。 | 本計画は区内の産業全体を視野に入れた商工業振興の総合的な計画ですが、各事業の執行に当たってはPDCAサイクルを活用した進行管理を通じ、選択と集中の視点を踏まえ、効果的・効率的な執行に努めてまいります。 | |
| 22 | 企業支援をするなら、区の友好都市との人的交流や技術交流を通じて行うなど、区他の事業とのコラボレーションを前面に打ち出せないか。 | 他の自治体との交流や区他の事業とのコラボレーションは有効なものと考えますので、個別事業の具体的な取組の中で検討していきます。 | |
| 23 | 総花的な計画から脱却しないと、資源の有効活用はできないと思う。 | 本計画において、商工業振興のすべての分野を網羅し、戦略目標を実現するために必要な個別事業を計画しました。事業の執行に当たっては、効果的・効率的な執行に努め、資源の有効活用を図っていきます。 | |